

## 海洋観測強化P Tの検討状況等

### (1) 構成員

主査： 古庄 幸一 元海上幕僚長  
 参与： 浦 環 九州工業大学社会ロボット具現化センター長  
         佐藤 慎司 東京大学大学院教授  
         高島 正之 横浜埠頭株式会社顧問  
         前田 裕子 国立研究開発法人海洋研究開発機構監事  
                     株式会社ブリジストンフェロー（執行役員待遇）  
                     グローバルイノベーション管掌付  
                     兼 知的財産本部主任研究部員  
         水本 伸子 株式会社IHI執行役員 調達企画本部長  
         鷺尾 圭司 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事（水産大学校代表）  
 外部有識者： 調整中

### (2) 本P Tにおける検討事項

#### 1. 海洋基本計画等のフォローアップ

- 1) 海洋基本計画第2部「6 海洋調査の推進」のフォローアップ
- 2) 海洋観測・調査に関する参与会議意見書のフォローアップ
  - ①平成26年5月参与会議意見書
    - －「2. 海洋調査・海洋情報の一元化・公開について」
  - ②平成28年3月参与会議意見書
    - －「4. 海洋科学技術について」のうち、海洋観測・調査に関する部分
    - －「5. 海洋状況把握（MDA）についてのフォローアップ」
    - －「6. 海洋政策の基盤と推進体制について（2）海洋状況把握」

#### 2. 海洋観測の強化に関する提言

- 1) 海洋観測の意義、重要性を踏まえた、海洋観測の強化
  - ①限られたリソースの下でひっ迫している、定常的な海洋観測網を維持・強化するための具体的な方策
  - ②海洋観測における宇宙技術の活用方策（海洋と宇宙が一体となった観測体制の確立）
  - ③国際観測プロジェクトにおいて我が国が継続的に主導的役割を担うための方策
- 2) 海洋観測成果の有効活用
  - ①国内の海洋観測計画・成果の相互共有のための方策  
（平成26年5月参与会議意見書のフォローアップを含む）
  - ②海洋状況把握推進のための方策

(平成28年3月参与会議意見書のフォローアップを含む)

3. 「海洋調査の推進」に関する重点事項

- 1) 上記を踏まえた、次期海洋基本計画（平成30年からの5か年）における「海洋調査の推進」に関する重点事項の抽出
- 2) P Tで検討した課題についての工程表の作成

(3) 本P Tの検討スケジュール

平成28年

7月1日(金)

第1回P T

- ・ 観測強化P Tにおける検討事項についての議論

7月下旬～

第2回P T

- ・ 外部有識者の紹介
- ・ 海洋観測の強化についての議論（定常観測網の維持・強化、宇宙技術の活用、国際観測プロジェクトへの参画）

9月

第3回P T

- ・ 海洋観測の成果の活用方策についての議論（海洋観測計画・成果の相互共有、海洋状況把握の推進）
- ・ 基本計画、参与会議意見書に関するフォローアップ

11月

第4回P T

- ・ P T報告書案の検討（次期海洋基本計画における「海洋調査の推進」に関する重点事項の検討）

平成29年

1月

第5回P T

- ・ P T報告書案の検討（工程表の検討）

2月

第6回P T

- ・ P T報告書とりまとめ